

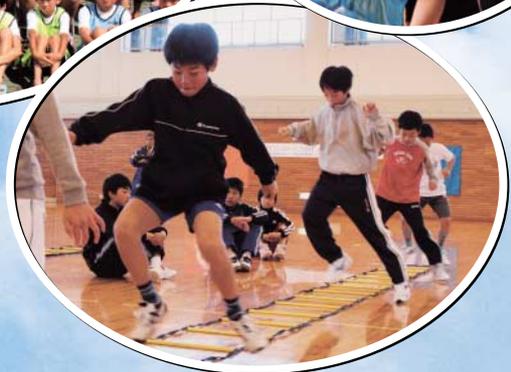
スポーツふくしま

Sports Fukushima

第17号

2007.4

みんなでスポーツを!



ごあいさつ



財団法人福島県体育協会会長
佐藤 雄平

日ごろより、本協会の事業推進につきましては、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年12月に、財団法人福島県体育協会長に就任いたしました。平成7年の第50回国民体育大会「ふくしま国体」における天皇杯・皇后杯獲得をはじめ、本協会設立から現在に至るまで、数々の功績を残された歴代役員の皆様の後を受けるとして、改めましてその重責に身の引き締まる思いであります。

さて、財団法人福島県体育協会は競技力の向上と生涯スポーツの振興を二大目標として掲げ、財団法人日本体育協会や県・市町村及び加盟団体等との連携を図りながら各種事業を推進し「スポーツに強いふくしま」の確立に努めて参りました。

競技力の向上においては、第61回国民体育大会の、男女総合成績で、前年の21位から26位へと順位を落とし、目標であった10位台を達成することができませんでした。しかし自転車競技の競技別4連覇やテニス競技成年女子の種別3連覇など、また全体の入賞数において、前年と同等のレベルを維持しており、次年につながる成果も見られています。計画的に強化に取り組まれた各競技団体の皆様、そして日頃より惜しみない努力を積み重ねてこられた監督、選手の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、すでに終了いたしました第62回国民体育大会冬季大会では、スキー競技大回転において三星佳代選手（成年女子B）が優勝する活躍を見せ、本年のスタートとして輝かしい成績を残してくれました。

指導者の育成に関しましては、養成と研修の場を各競技団体と連携して設定し、専門性の高い指導者の確保と資質向上に努めております。これから一層の競技力向上を目指し、選手の育成・強化、指導者の養成等の充実はもとより、強化体制の整備として、選手の発掘・育成の一貫指導体制の確立に努めてまいります。

一方、生涯スポーツの振興につきましては、多様化、高度化が進む県民のスポーツニーズに応える諸事業の推進を図っております。毎年10月を「うつくしまスポーツ月間」と位置づけ、県内各地で多くのイベントを催しております。平成18年度はそのオープニングイベントとして、田村市文化センターにアーチェリーアテネオリンピック銀メダリストの山本博氏をお招きし、スポーツ講演会を開催しました。さらに、3月に行われた「スノースポーツフェスタ2007inただみ」では、豊かな福島を自然を背景にウィンタースポーツや自然体験など、この気候特性を生かした事業を実施しました。そこでは、冬季オリンピック金メダリストの荻原健司氏をお招きした講演会やイベントを通して、人々の交流や親睦を図ることができたものと考えております。

また、地域に根ざしたスポーツ活動の場として総合型地域スポーツクラブの育成と定着を図り、支援しているところであり、平成18年度までに県内49クラブが立ち上げられ、活動しております。今後も生涯スポーツにおける啓発活動を充実させ、地域におけるスポーツ環境の整備に努めてまいります。

会長に就任して以来、全国大会等で活躍した皆様に、お会いする機会が数多くありました。皆様の活躍は、県民に勇気と感動を与えるとともに、生活に活力をもたらす、スポーツ振興を牽引する大きな力になると確信しております。

県体育協会といたしましては、本年も引き続き加盟団体の皆様をはじめ関係機関との緊密な連携のもと、本県スポーツの一層の活性化を目指して諸事業の推進に努めてまいりたいと考えております。関係各位の更なる御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

も く じ

ページ		ページ	
1	活躍する福島県選手	13	ニュースポーツ種目の紹介 「ダンススポーツ」
2	巻頭言		体育施設とスポーツ教室の紹介 楽しいスポーツ施設「高田体育館」
3	第62回国民体育大会冬季大会成績	14	みんなで作ろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ「すいっち」
5	平成18年度優秀指導者養成事業報告	15	「スポーツと健康」ワンポイント講座
6	平成18年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業報告		INFORMATION
8	平成18年度表彰式	16	平成18年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿 編集後記
10	スノースポーツフェスタ2007inただみ開催報告		
11	生涯スポーツコンベンション2007		
12	平成18年度福島県スポーツ指導者研修会実施報告 ジュニア期のスポーツ指導の留意点		

表紙：県体育協会表彰式 冬季国体（渡部 巧・三星佳代：写真福島民友新聞社）
「うつくしまスポーツキッズ発掘事業」

第62回国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー競技会	平成19年1月27日(土) ～ 31日(水)	群馬県 渋川市 前橋市	佐藤 憲保	2	14	5	31	50
	スキー競技会	平成19年2月10日(土) 13日(火)	秋田県 仙北市 鹿角市	浅川 静英	1	13 (4)	6 (12)	49	68 (16)

1 派遣人数の()は競技団体派遣者で外数 2 スケート・アイスホッケー競技会の監督のうち1名は選手兼任

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会	スケート競技会	7.0点	10点	17.0点	25位	0.0点	10点	10.0点	20位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	13位	-	-	-	-
	スキー競技会	17.0点	10点	27.0点	10位	8.0点	10点	18.0点	8位
合計		24.0点	30点	54.0点	25位	8.0点	20点	28.0点	21位



アイスホッケー成年（対岡山県戦勝利）



スキー競技複合成年男子B コンパインド
渡部 巧（会津養護学校教員）

3 冬季大会入賞者一覧

スケ-ト競技		競技得点7.0点 天皇杯26位・皇后杯20位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属			
スピード	成年男子 500m	7	2	野内俊吾	日本体育大学4年			
						成年男子 2000mR	7	2
	野内俊吾	日本体育大学4年						
			小林哲	山梨学院大学4年				
	少年男子 2000mR	6			3	福島県	渡邊 瞭	郡山商業高等学校1年
			遠藤 貴裕	郡山北工業高等学校3年				
			吾妻 義尚	郡山商業高等学校2年				

スキー競技		競技得点17.0点 天皇杯10位・皇后杯8位			
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	C ジャイアントスラローム	5	4	木村 邦裕	渡部産業(株)
"	B コンバインド	4	5	渡部 巧	会津養護学校教員
成年女子	B ジャイアントスラローム	1	8	三星 佳代	(財)福島県体育協会



スキー競技大回転成年女子B GS 三星 佳代 (財)福島県体育協会)
《写真提供：福島民友新聞社》



スピードスケート少年男子2000mリレー



スキー競技大回転成年男子C GS 木村 邦裕 (渡部産業株)

平成18年度優秀指導者養成事業報告

主催：財団法人福島県体育協会 共催：福島県教育委員会



現在、意欲をもってコーチングに取り組んでいる若手指導者を対象に、コーチングに関する高度な知識等を修得させるための特徴ある講習会を実施し、将来的に本県競技力の向上を担うコーチを育成することを目的として開催しました。

日時・場所

第1回 平成18年12月18日(月)・ユラックス熱海

第2回 平成19年2月15日(木)・福島県建設技術センター

参加対象

当該競技団体または当該団体のビクトリー強化コーチの推薦を受けた者で意欲を持ってコーチングに従事している指導者や、これから本格的にコーチングに関する知識等を学び、競技団体の中心的役割を果たすことが期待される指導者。



コミュニケーションスキルを高める

講師



仙台大学 助教授
勝田 隆 氏

対象競技

バスケットボール競技

ハンドボール競技

サッカー競技

ラグビーフットボール競技

ホッケー競技

アイスホッケー競技

2回にわたる講習会は、コミュニケーションスキルを高める講習となった。

第1回はコーチと選手個人とのコミュニケーション、第2回はコーチとチームとのコミュニケーションの取り方について行った。いずれも、ワークショップ方式で行い、楽しみながらテクニックを身につけられる内容であった。学んだその日から現場で役に立てられそうである。



参加者に呼び掛ける講師



選手対策を話し合う参加者



言葉を使わないで意思疎通を行う

平成18年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業報告

本事業の目的

県内各地で実施する「スポーツキッズ発掘テスト」において選考されたスポーツキッズを対象に、指定競技団体による一貫指導にもとづいたトレーニングを経験させることで、才能を発掘する。さらに個々の能力や競技適正についての情報を本協会と各競技団体が共有・活用することによって、優秀な人材の確保に努める。



主催

財団法人福島県体育協会

参加対象者

県内在住の小学生（2年生から5年生）

共催

福島県教育委員会
 福島県高等学校体育連盟
 福島県中学校体育連盟

実施競技

一貫指導マニュアルや強化推進体制の整った競技団体の中から指定した右記の競技

水泳(飛込)、バスケットボール、ラグビー、テニス、ボクシング、陸上競技、スケート

内容

第1ステージ ...県内各地で行われたスポーツキッズ発掘テストを行い、42名を選考した。

日程・開催場所

	日	程	発掘テスト会場	場 所
1	6月	4日	県南会場	郡山西部体育館
2		24日	相双会場	大熊総合体育館
3	7月	1日	会津会場	河東町総合体育館
4		16日	いわき会場	いわき総合体育館
5		30日	県北会場	あづま総合体育館

実施内容(10種目)

反 復 横 跳	立 五 段 跳
閉 眼 歩 行	2 5 m 走
立 幅 跳	ドッジボール投
四 方 向 ス テ ッ プ	全身反応テスト
動的平衡性テスト	しっぽ取りゲーム

参加者数

学 年	男 子	女 子	人 数
6年生	2	4	6名(昨年参加者)
5~4年生	115	104	219名
3~2年生	117	111	228名
計	234	219	453名



第2ステージ ...選考された子ども達に県内各競技団体による「クロストレーニング」を実施した。希望のあった子ども達には、同様に「体験プログラム」を実施した。

競技日程

	日	程	競	技
1	9月	3日	飛	込
2		30日	バスケットボール	
3	10月	8日	バスケットボール	
4		29日	ラ	グ
5	11月	4日	ラ	グ
6		5日	テ	ニ
7		12日	ボ	ク
8		25日	陸	上
9	12月	2日	ス	ケ
10		9日	ス	ケ
11		10日	ボ	ク
12		17日	テ	ニ
13	1月	13日	修	了
			式	

体験プログラム

	日	程	種	目	会	場	地
1	9月	10日	カ	ヌ	-	二	本
2		16日	セ	-	リ	ン	グ
3	10月	1日	ス	ポ	ー	ツ	チ
4		7日	な	ぎ	な	た	
5		15日	ス	ポ	ー	ツ	チ
6	11月	18日	な	ぎ	な	た	
7		19日	ス	ポ	ー	ツ	チ
8	12月	2日	ハ	ン	ド	ボ	ー
9		10日	銃	剣	道		
10		10日	体	操			
11	1月	7日	体	操			



青空の下、行われた飛込



芝草で行った
ラグビー



福井 烈プロを講師に紹介した

成果と課題

平成17年度に始まった「うつくしまスポーツキッズ発掘事業」は2年目を迎え、県内一円から集まった453名が、初めての発掘テストによる選考を行った。参加した子ども達は、真剣な目差して、各テスト種目に臨んだ。

選考の結果、42名の子ども達が選ばれ、9月から始まったクロストレーニングに参加した。このクロストレーニングは7競技団体が、子どもの発育発達状況に合わせたトレーニングが準備され、12月まで計12回行われた。神経系の発達著しい年代の子ども達（ゴールデンエイジ）に、様々なトレーニングを体験させることで、質の高い刺激を受けたものと思われる。また、1月に行われた修了式では、北京オリンピックを目指す選手3名と、子ども達がふれあうプログラムや、保護者対象のスポーツ栄養学の講習会が行われた。

また、希望のあった子ども達には、7種目の「体験プログラム」を提供し、多くの子ども達がふだん経験できないスポーツに挑戦した。

財団法人福島県体育協会 平成18年度表彰式

平成18年度財団法人福島県体育協会表彰式は、平成18年12月10日に福島市の「ウェディングエルティ」で開催されました。

式では各受賞者に会長の佐藤雄平知事より表彰状と記念品が授与され、県議会議員の桜田葉子様、県教育長富田孝志様より祝辞があり、受賞者を代表して吉田真希子様より謝辞がありました。

懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いとお励ましがなされました。

下記は今回受賞された皆様の紹介です。(敬称は省略させていただきます。所属は成績を残した時のものです。)



あいさつをする佐藤雄平会長



表彰を受ける渡辺 豊選手(山岳)



あいさつをする吉田真希子選手(陸上)

スポーツ功労賞者

(多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々)

小鍛冶 昇(福島県ソフトテニス連盟)	宗形 守敏(福島県バドミントン協会)	二木 康規(福島県卓球協会)	萩原 義弘(福島県バスケットボール協会)
吉田 邦男(福島県バドミントン協会)	渡邊 一夫(福島県体操協会)	田代 哲男(福島県グラウンドゴルフ協会)	橋 政弘(東北地域連合会)
斎藤 元(東北地域連合会)	村越勤一朗(県中地域連合会)	芝澤 昌子(県南地域連合会)	室井 恒男(南会津地域連合会)
岩本 忠夫(相双地域連合会)			

優秀選手賞(個人)

(本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手)

陸上競技	瓜生 朱音(福島大学1年)	松田 薫(福島大学3年)	栗本佳世子(福島大学4年)	菊池 敦郎(順天堂大学1年)
	佐藤 大樹(東海大学1年)	丹野 麻美(福島大学3年)	山野辺 薫(筑波大学2年)	村上 康則(富士通(株))
	山田 啓太(筑波大学1年)	正木友佳子(鏡石町立鏡石中学校3年)	田嶋 和也(県立白河旭高等学校1年)	橋本富美子(県立いわき総合高等学校3年)
	宮下 雅史(いわき市立中央台南中学校3年)	五十嵐 圭(西会津町立西会津中学校2年)		
テニス	中柴 望貴(いわき市立湯本第二小学校6年)			
卓球	深谷 亮幸(県立小野高等学校)	深谷 純子(郡山ザベリオ学園高等学校)	須藤 正徳(県立会津学鳳高等学校)	五十嵐麻莉依(喜多方市立松山小学校2年)
水泳	三浦 俊樹(財 都市公園緑化協会)	山口 雅文(中央大学4年)	高橋 恵美(伊達市立松陽中学校3年)	加藤 和(学校法人桜の聖母学院高等学校2年)
	小林 千桜(福島市立瀬上小学校5年)	江川 克彦(日本体育大学2年)	西川 友章(県立清陵情報高等学校)	小林 和真(郡山市立郡山第一中学校3年)
	吉田 佳世(郡山市立郡山第七中学校3年)			
自転車競技	須永 優太(県立白河実業高等学校3年)	関根 彰人(学校法人石川高等学校3年)	窪木 一茂(学校法人石川高等学校2年)	我妻 敏(日本大学1年)
	真船圭一郎(県立白河実業高等学校3年)	拓磨(日本大学3年)	小豆畑郁也(日本大学3年)	
バドミントン	野尻野 匡世(学校法人尚志学園尚志高等学校2年)	仁平 澄也(白河市立白河第三小学校2年)	増子 トキ(無職)	斎藤 清人(県立浪江高等学校津島分校)
	菅田 克彦(無職)	国井 直英(無職)	松崎 和朗(無職)	斎藤 亘(富岡町立富岡第一中学校)
	遠藤夫美子(無職)			
アマチュアボクシング	須佐 勝明(東洋大学4年)	佐藤 矩彰(法政大学4年)	草野 隼人(学校法人山崎学園福島県磐城第二高等学校3年)	
	伊藤 悠樹(県立福島明成高等学校3年)	片山聡一郎(学校法人山崎学園福島県磐城第二高等学校2年)	高田 大将(県立福島明成高等学校3年)	
柔道	馬上 忠頼(県立平工業高等学校2年)			
体操	若松 功(無職)	田邊 浩仁(県立会津工業高等学校3年)		
スキー	上野 修(ホテルリステル猪苗代)	附田 雄剛(ホテルリステル猪苗代)	桑原 竜司(県立猪苗代高等学校3年)	国分 忠(駿河台大学1年)
スケート	瀬谷 和三(山梨学院大学4年)			
馬術	吉田 学人(県立双葉高等学校2年)			
ウエイトリフティング	黒江 雄治(早稲田大学1年)	八巻 靖(県立相馬農業高等学校3年)	今野 金哉(自営業)	本多 滋(法政大学3年)
	清野 裕司(県立相馬農業高等学校)	寺島 啓史(日本大学3年)		
レスリング	清水聖志人(クリナップ(株))	長島 和幸(クリナップ(株))	渡部 沙織(県立田島高等学校2年)	渡部 悠香(日本体育大学1年)
	高橋 健司(県立大沼高等学校3年)	山口 将平(県立大沼高等学校3年)	湯浅 俊平(県立田島高等学校2年)	折笠 昭太(県立田島高等学校2年)
	福田 広樹(県立田島高等学校2年)			
フェンシング	稲村謙二郎(いわき市立赤井小学校6年)			
クレール射撃	大竹 淳(有 大竹銃砲店)			
なぎなた	井関耕太郎(会津若松市立城北小学校6年)	佐藤 遙(会津若松市立第三中学校2年)	黒沢さつき(会津若松市立第二中学校3年)	木村安輝子(会津若松市立第二中学校3年)
	内田 敦子(会津若松市立第二中学校3年)			
ボウリング	竹俣 茉耶(会津若松ザベリオ学園高等学校2年)	鈴木 英子(株 日立製作所福島事業所)	伊藤 文(株 東北装美)	
カー	久野 綾香(株 久野製作所)	和田 藍加(福島医療専門学校2年)	宮田 悠佑(二本松市立東和中学校3年)	阿部 公貴(日本体育大学4年)
	和田 恭平(県立二本松工業高等学校3年)			
トランポリン	後藤 健(学校法人尚志学園尚志高等学校2年)		齋藤 光(学校法人尚志学園尚志高等学校3年)	
トリアスロン	菊池日出子(順天堂大学2年)			
グラウンドゴルフ	結城 松雄(無職)			
障がい者スポーツ	鈴木 猛史(県立猪苗代高等学校3年)	佐久間勇輔(福島産自動車(パル)茨野日店)	安斎 恵光(株式会社東北補装具製作所)	

優秀選手賞(団体)

(本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体)

陸上競技	第59回全国高等学校陸上競技対校選手権大会男子4×100mR福島県立白河旭高等学校、第75回天皇賜杯日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100mR国立大学法人福島大学、第75回天皇賜杯日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×400mR国立大学法人福島大学、第37回ジュニアオリンピック陸上競技大会女子4×100mR福島県、第90回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×100mR国立大学法人福島大学、第90回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×400mR国立大学法人福島大学
軟式野球	第28回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会小名浜少年野球教室、平成18年度高松宮賜杯1部全国大会ポイントズ、天皇賜杯第61回全日本軟式野球大会株式会社タンガロイ
ソフトテニス	第23回全日本小学生ソフトテニス選手権大会福島県女子選抜
テニス	第61回国民体育大会成年女子テニス競技福島県
卓球	平成18年度全日本クラブ卓球選手権大会小・中学の部男子富久山卓球クラブ男子、平成18年度全日本クラブ卓球選手権大会小・中学の部女子富久山卓球クラブ女子、平成18年度全日本クラブ卓球選手権大会小・中学の部女子本宮卓球クラブ女子Aチーム、平成18年度全日本クラブ卓球選手権大会小・中学の部女子本宮卓球クラブ女子Bチーム、平成18年度全日本クラブ卓球選手権大会世代交流の部福島ジュニア卓球クラブ男子、平成18年度全国教職員卓球選手権大会女子シニア団体福島県女子
ボート	第56回全日本社会人選手権大会ナックルフォア會津磗漕會
剣道	第48回全国教職員剣道大会男子団体福島県教職員チーム
自転車競技	第57回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会チームスプリント福島県立白河実業高等学校、第61回国民体育大会自転車競技成年男子4Km団体追抜競走福島県
バスケットボール	第44回男子全日本教員バスケットボール選手権大会福島県教員A
バドミントン	第45回全日本教職員バドミントン選手権大会男子団体福島県、第45回全日本教職員バドミントン選手権大会女子団体福島県
弓道	第61回国民体育大会弓道競技少年男子近的福島県、平成18年度全国高等学校総合体育大会弓道男子団体福島県立安積黎明高等学校
体操	第21回全国高等学校新体操選抜大会女子団体学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校
ソフトボール	第24回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会福島県立郡山工業高等学校、第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会帝京安積高等学校、第27回全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会福島ソフトボールクラブ、第21回全日本社年ソフトボール大会福島北ソフトボールクラブ、第15回全日本実年ソフトボール大会福島北ロイヤルズ
フェンシング	第7回全日本少年フェンシング団体選手権大会小学校男子フルーレ福島県フェンシング協会、第7回全日本少年フェンシング団体選手権大会小学校男子フルーレいわきフェンシングスポーツ少年団
山岳	第61回国民体育大会山岳競技縦走成年男子福島県
なぎなた	JOCジュニアオリンピックカップ第14回全国中学生なぎなた大会会津なぎなたスポーツ少年団
ボウリング	第44回全日本ボウリング選手権大会男子の部6人チーム戦福島、第61回国民体育大会ボウリング競技成年男子団体福島県、第61回国民体育大会ボウリング競技少年女子団体福島県
カヌー	平成18年度全国中学生カヌー大会男子K4-500m二本松市立東和中学校、平成18年度全国中学生カヌー大会男子K2-500m二本松市立東和中学校、平成18年度日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会男子C2-200m福島県立安達高等学校、平成18年度全国高等学校カヌー選手権大会男子C2-500m福島県立安達高等学校、平成18年度全国高等学校カヌー選手権大会男子C2-200m福島県立安達高等学校
トランポリン	第31回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子団体学校法人尚志学園尚志高等学校
綱引	2006全日本ジュニア綱引選手権大会ユースの部若宮スピリッツ
グラウンド・ゴルフ	第19回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会福島県

優秀指導者賞

(優秀選手の育成に直接貢献した指導者)

陸上競技	川本 和久(国立大学法人福島大学)	体 操	高木弘美(学校法人福島成蹊学園成蹊高等学校)
軟式野球	鈴木 仁(県立白河旭高等学校)	ス キ ー	高野弥寸志(ホテルリステル猪苗代)
ソフトテニス	小和口有久(会社員)	ソフトボール	相原 正裕(県立本宮高等学校)
卓 球	山口 潔(農業)		大森 史仁(県立郡山工業高等学校)
	小池 光博(会社員)		和田 広(帝京安積高等学校)
	渡部 昭洋((株)伊達屋)		鈴木 和彦(鈴彦建築塗装)
	大和田元一(建築自営業)	フェンシング	野田寛一郎(ユニオン企画)
	玉木志代子(会社員)		野崎 昭二(JA新ふくしま)
	武田 勇治(農業)	山 岳	鈴木 生央(福島整形外科護国)
	柏谷 潔((株)プレクサス)	トランポリン	今野 貴子(川俣町役場)
剣 道	大塚 雅彦(学校法人温知会仁愛高等学校)	綱 引	菅野 富寿(鍼灸師)
自転車競技	田崎今日児(県立白河実業高等学校)		遠藤 静子(学校法人尚志学園尚志高等学校)
バスケットボール	山崎 高司(県立福島工業高等学校)		笠原 則人(会社員)
弓 道	強口 徹雄(県立平工業高等学校)		
	豊田 則夫(県立安積黎明高等学校)		

社会体育優良団体賞

(地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体)

・会津若松市家庭バレーボール協会(会津地域連合会)

特別賞

(国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人)

吉田真希子 平成4年国民体育大会(山形)で入賞して以来、通算12回本県代表として出場、競技得点105点という高得点を獲得し、本県の競技力向上に大きく貢献した。

福島県自転車競技連盟 第61回国民体育大会において、競技別総合優勝を果たした。



ボクシングの優秀選手と会長

スノースポーツフェスタ 2007 in ただみ

開催報告



本協会では、多くの県民が気軽にスポーツ活動を行うことを目的に、平成12年度より「一足の運動ぐつから始めよう。」のスローガンのもと、大々的にキャンペーンを展開してスポーツ実践への啓発に取り組んでいます。

スポーツニーズが多様化する中、豊かな福島を自然を背景に、ウィンタースポーツや自然体験を提供していければと考え、今年度は「スノースポーツフェスタinただみ」を、ただみコミュニティクラブと連携を図り、下記の日程・内容で実施しました。

期日 平成19年3月24日(土)・25日(日)

会場 季の郷湯ら里 イベント特設広場

実施種目

クロスカントリースプリントレース	雪上ソフトバレーボール大会	クロスカントリースキー体験
スノーモビル体験	雪上フライングディスク体験	スノーシュー体験
昔ながらのそりすべり体験	キャンドル雪像づくり体験	イベント写真コンテスト
子ども・高齢者宝探しゲーム	雪上すもう体験	かまくら体験



さらに24日には、スポーツ講演会を下記の通り開催しました。

講師 コンバインドスキー
オリンピック金メダリスト
荻原 健司 氏
演題 「本気は本物か」



荻原選手自身の体験から座右の銘「本気は本物か」の演題のもと、自分の育った家庭環境の話から、オリンピックを意識することになるきっかけ、世

界の舞台で活躍できるようになるまでの苦労、さらには華々しい成績の裏に隠された人知れぬ挫折を乗り越えてきたことを、数多くのエピソードを交えながらお話しいただきました。

最後に、好きなことを一生懸命していれば必ずヒーローになれるとお父さんに言われ、小学校の頃テレビであこがれたウルトラマンの様なヒーローになる決心をする話もあり、家庭のしつけや教育力の大切さを力説されました。その「本気」は心に響き、来場した子どもたちも目を輝かせて会場をあとにしました。



生涯スポーツ コンベンション2007

～人・スポーツ・未来～

本県にて開催！



平成18年1月19日（金）、本県郡山市のホテルハマツにおいて「人・スポーツ・未来」をテーマに生涯スポーツコンベンションが、20日（土）には同会場にて全国総合型地域スポーツクラブマネジャー研修会が開催されました。近年、自由時間の増大、体力・健康づくりへの国民の関心の高まりなどを背景にスポーツ需要が増大しており、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる生涯スポーツ振興のための諸条件の整備が求められています。



生涯スポーツの推進には、国や地方公共団体ばかりでなく、各種スポーツ・レクリエーション団体や、スポーツクラブ、学校関係者さらにはスポーツ関連産業団体等が、それぞれ重要な役割を果たしており、これら関係者相互の連携・協力が急務となっています。

このため、関係の各界各層の人々が一堂に会し、生涯スポーツ振興上の諸課題について意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ振興の気運を盛り上げることを目的として本コンベンションを開催するものです。

全体テーマ

～次世代に繋ぐ豊かなスポーツ環境づくり～

主な内容



全体会第1部 基調講演	【生活の豊かさ・健康・地域振興 - スポーツクラブの貢献 - 】 フォルカー・リッター(ドイツ連邦共和国・ケルン体育大学教授)
分科会	第1分科会:【子どもの体力の向上や健康増進に資するスポーツ環境の整備充実について】 第2分科会:【対象に合わせたスポーツ環境の充実策～プログラムサービスを中心に～】 第3分科会:【地域住民が主役となったスポーツ環境づくりについて】 第4分科会:【スポーツ指導者が一層活躍できるスポーツ環境づくりについて】 第5分科会:【豊かなスポーツ環境を創り出すための今後のスポーツ施設の在り方について】
展 示	生涯スポーツ関係団体、企業等のスポーツ関連活動や広域スポーツセンター情報を幅広く紹介

参加者数実績

生涯スポーツコンベンション2007		全国総合型地域スポーツクラブ マネジャー研修会	
種 別	人 数	種 別	人 数
一般参加者	783	一般参加者	177
主催団体役員	14	主催団体役員	7
講師・通訳者	23	講師	10
招待者	47	協賛企業・団体関係者	2
協賛企業・団体関係者	17	県スタッフ・ボランティア	64
県スタッフ・ボランティア	61	主催団体関係者	28
主催団体関係者	27		
計	972	計	288



ジュニア期のスポーツ指導の留意点

本年度第2回目の福島県スポーツ指導者協議会による公認スポーツ指導者研修会を、平成19年2月4日(日)いわき市湯本の『いわきゆったり館』にて開催いたしました。

参加者は約80名と熱心な指導者が集い、今年度が2年目である『ジュニア期のスポーツ指導の留意点』というテーマで研修を深めました。

午前は開会行事の後に、会津大学講師の中澤 謙先生による『ジュニア期の発育・発達に添ったスポーツ指導のあり方』と題して、3・4歳から8・9歳までのプレゴールデンエイジ、さらには9歳から12歳ごろまでのゴールデンエイジに対する指導をこの年代の発育・発達の特徴を把握しながら個別性を



会場内の様子

重視した指導が大切ということを強調されていました。特に最近の子どもたちの体力の低下は顕著で、10年前に比較し著しく低下しその原因は外遊びの減少が最大の要因であるし、この時期特有の集団で自由に遊ぶ、場や仲間、機会を指導者や親が意識的に提供してあげる必要を話されていました。



中澤氏の講演の様子

続いての研究協議では、本会会長の本田俊教先生による指導者が総合型スポーツクラブにいかに関わるべきかについて、スポーツ振興基本計画や日本体育協会の資料を中心に解説し、近年の国民の健康志向やそれにとまなうスポーツ熱をうまく活用し、指導者自らが積極的に活動の場である総合型スポーツクラブの創設や指導に関わる必要性について力説されました。

午後の講義はスポーツドクターである、ARCクリニックよしだ整形外科院長の吉田仁郎先生とそのスタッフの方々による、スポーツ障害予防の留意点と障害予防のためのトレーニング方法についての講義と実技を行いました。



本田氏の講演の様子

障害予防の留意点に関しては、この時期特有の成長期を良く理解し、骨格の成長と筋肉の成長とのアンバランスに注意をして指導をする必要性とパワー、バランス、柔軟性を備えた体力づくりの必要性について解説されました。それらを受けた実技として、バランスボール、バランスボード、スライドボードを利用した体幹トレーニングの実際等について研修いたしました。

本協議会では来年度も公認スポーツ指導者の資質向上のために各種研修会を開催する予定でありますので、皆様方の積極的な参加をお願いいたします。

(財)日本体育協会公認スポーツ指導者のみなさん、義務研修は有効期限の6ヶ月前までには受講しましょう。競技・資格により、別に定められた研修を受けなければ、更新できないものがあります。

「ダンススポーツ」

福島県ダンススポーツ連盟常務理事
(財)日本体育協会公認コーチ 熊谷 義昭

「シャル・ウィ・ダンス？」最近、テレビやマスコミ等で取り上げられるようになり、身近なスポーツとして関心もたれるようになってきました。ダンスは、安全で安心して長時間運動できる「有酸素運動」と言われ、子供からお年寄りまで、幅の広い層に愛されています。また、音楽に合わせて簡単なステップを踏み、心地よい汗を流すことにより、ストレス解消にも繋がります。(社)日本ダンススポーツ連盟では、全国で45,000名、福島で1,000名の会員がおり、県内に7支部があります。



ダンススポーツは、「サンバルンバやワルツ・タンゴ…」等最大で10種目を、音楽に合わせてカップルを組んで踊り、相互に競い合うスポーツです。これら競



技選手と皆様の近くにある公民館や体育館で、サークル活動として楽しんでいる会員で組織されています。

見る する 支える「生涯スポーツ」として、県内では、年4回の競技会やダンスパーティーを開催し、技術向上と交流の機会を提供しています。そして、それらをサポートする指導員のスキルアップ研修会や万が一に備えての心肺蘇生法・AED(自動除細動器)使用の勉強会と言った幅の広い分野を学ぶことによって、安全で安心して継続できるダンススポーツを構築しています。皆様も私達の仲間となって「ダンスライフ」を楽しんでみませんか。

問い合わせ先

福島ダンススポーツ連盟事務局 木野 秀夫
〒969-6183 会津若松市北会津町上米塚1244
電話 0242-56-3506

体育施設とスポーツ教室の紹介

ギャラリーや図書もあります

楽しいスポーツ施設「高田体育館」

会津美里町は、会津高田町、会津本郷町、新鶴村の旧3町村が合併して平成17年10月1日に誕生いたしました。

会津盆地の西部に位置し東は会津若松市、西は柳津町、北は会津坂下町、南は下郷町・昭和村に接しています。

当体育館は高田地域(旧会津高田町)にあり、ア



リーナ面積が1,280㎡(40m×32m)の両沼地方を代表する体育施設で、バスケットボールコート2面・バドミントンコート6面・バレーボールコート2面・

家庭バレーボールコート4面などがとれ、中体連や県総合体育大会などの各種競技大会をはじめスポーツクラブの活動の場として多くの方々に利用されています。

また、年間を通しニュースポーツ教室に取り組んでおり、カローリングやスポーツ吹矢、スポーツチャンバラなどに多くの町民が参加し、さわやかな汗を流しています。ロビーは、スポーツ活動の後の憩いの場として利用していただくため、スポーツギャラリー(写真や賞状展示)を設置し、図書を備えつるなどしており、利用者に喜ばれております。

なお、当体育館には、会津美里町体育協会、会津美里町スポーツ少年団本部、会津美里ふれあい健康マラソン大会の事務局が置かれています。



問い合わせ先

高田体育館
TEL0242-54-2276 FAX0242-54-6007

総合型地域スポーツクラブ



みんなで作るスポーツクラブ すいっち

【問い合わせ先】

事務局 〒969-5344
下郷町豊成字下ミ5754
電話・FAX
0241-67-2552



会長 佐藤 賢之介
「よろしくお願いします。」

下郷町の生涯スポーツをもっと盛んにしたい、運動をしていない人に運動してもらいたい、もっと健康になって長生きして欲しい、子どもたちにスポーツを通じて豊かな生き方を見つけて欲しい、町民が明るく楽しい人生を生きて欲しいと願って設立しました。今までの行政主体の運営から脱却して、自らの手で自らの楽しみを見つける、そんなクラブへと成長させていきたいです。

「すいっち」名前の由来

- 1、今まであまり運動してこなかった人の運動スイッチをON
- 2、これまで行ってきた活動をさらにステップアップさせるスイッチをON
- 3、日常入りっぱなしのスイッチをOFFにさせ、癒しとやすらぎを与える

教室

ゴルフ

鶴ヶ池ゴルフパーク
5, 7, 9, 11月
参加費:実費

『提携プロに学べます』



フィットネス

コミュニティーセンター
毎週金曜日19時～

『いい汗かこうー
いい友つくろう』



バドミントン

湯野上体育館
毎週火曜日19時～

『バドミントンが
大好きなあなたへ』



フライングディスク

コミュニティーセンター
第2, 4金曜日19時～

『元日本代表と
楽しいドッチビー』



バドミントン

コミュニティーセンター
毎週木曜日19時～

『この機会に
バドミントンをやろう!』



バレーボール

コミュニティーセンター
第2, 4金曜日19時～

『みんなで一緒に
心も身体も健康に!!』



イベント

エアロビクス

コミュニティーセンター
毎月第1, 3土曜日
19時～21時



その他イベント

ボーリング大会
ソフトバレー大会
ディスクゴルフ大会
スナックゴルフスクール



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～余分な脂肪はへらしましょう～

体重に占める体脂肪量の割合を「体脂肪率」といいます。一般の成人男性は12～17%、女性は22～28%程度が正常とされています。

体脂肪は人間が生きてゆく上で大切なエネルギーの貯蔵庫ですが、ことスポーツに関してはエネルギー源としての体脂肪は競技成績に殆ど影響しません。

体脂肪が有利に働くケースはシンクロナイズドスイミング、相撲、アメリカンフットボールのラインマン、ハンマー投げ、円盤投げでは有利に働くことがあります。

スポーツ選手としての理想は、筋肉量が増えて体脂肪が減るという傾向です。

種目にもよりますが、競技者の理想値は男性で5～8%、女性では10～15%くらいです。

筋肉内で脂肪はトリグリセドの形でたまっています。低強度から中間強度に進むようなゆっくりしたペースで長い時間走るトレーニングなどでトリグリセドが比較的多量に使用されます。

習慣的な持久力トレーニングによって脂肪はへることで、人間は飢えには強いが、食べ過ぎには弱いことを銘記すべきでしょう。

INFORMATION

"スポーツなんでも相談"

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好者や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- 1 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- 2 FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- 3 メールによるご相談 E-mail info@sports-fukushima.or.jp

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会福島県支部
☎024-526-4600

(財)日体協公認スポーツ指導者資格取得について

日頃スポーツに親しんでいる皆さん、スポーツ指導のための公認資格を取得してみませんか？

財団法人日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて各年代に応じた指導ができ、さらに競技力育成でもその知識や技能を發揮できる指導者の育成に力を入れています。今回ご紹介するのは公認スポーツ指導者資格である「指導員」です。資格の取得については、共通科目と専門科目を受講し、検定試験に合格すれば認定となります。

「指導員」の申し込み期間は6月30日まで本協会へ所定の申込書にて提出するようになります。19年度に本県で開催する予定の「指導員養成講習会専門科目」は右記の通りです。

その他の競技種目については、他県で開催されるものもありますので、詳細につきましては本協会生涯スポーツ係までお問い合わせください。

陸上競技
水泳
ソフトテニス
ハンドボール
バレーボール
卓球

お問い合わせ (財)福島県体育協会生涯スポーツ係 ☎024-521-7896

平成18年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～ 私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株) ヲラロススポーツ	福島県信用組合協会	福島県信用金庫協会
福島県信用保証協会	(有) 吾妻印刷	(株) ヨシ製作所	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
キング印刷(株)	(株) 福島民報社	福島民友新聞(株)	東亜道路工業(株) 福島営業所
福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)	合資会社「東館」	福島テレビ(株)
東信建設(株)	佐藤工業(株)	福島交通(株)	(株) アルティア橋本福島工場
(株) 東北装美	ゼビオ(株)	(株) 環境部分析研究所	(株) 古瀧
(株) モリヨシ技研	花春酒造(株)	福島県ゴルフ連盟	(株) フェディングエルティ
呉羽環境(株)	関場建設(株)	新田産業(株)	(有) 番場産業
東北建設(株)	(株) ヌらい	東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)
富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合	大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)
福島日産自動車(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)	タニコー(株)
(株) 福島中央テレビ	楢葉町体育協会	クリナップ(株) いわき事業所	東京電力(株) 福島事務所
(株) アクト	東北電力(株) 福島支店	山木工業(株)	(株) 山川印刷所
(株) 民報印刷	小名浜製錬(株) 小名浜製錬所	(株) ヲレハいわき工場	福浜大一建設(株)
(株) 加地和組	クレハ建設(株)	福島運送(株)	錦興業(株)
(株) 福島テレビエンタープライズ	(株) 渡辺組	(株) 日進堂印刷所	堀江工業(株)
トップソアー(株) 福島支店	大塚製薬(株) 郡山出張所	陽光社印刷(株)	名木製帽店
(株) 松崎	(株) 海老名建設	(株) 高橋建設	江花建設(株)
福島ガス(株)	(株) ダイユーエイト	(株) ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	タナカ(株) 情報ビジネス福島営業所
(有) エンドースクリーン	(株) NIPPOコーポレーション福島支店	ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)
オノアスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)	スポーツニッポン新聞社福島支局	(株) レオック東北
(学) 新潟総合学院FSG専門学校グループ	(株) 日産サテオ福島	(株) ヲヨタレンタリース福島	(株) テレビユー福島
(株) 福島放送	県高等学校体育連盟	ヤマハ発動機(株) プール事業部東北営業所	福島観光自動車(株)
トーアエイヨー(株)	アルパイン(株)	白河信用金庫	ムネカク(株)
福島県商工信用組合	福島信用金庫	福島銀行	(株) プリテックス
福島トヨペット(株)	(株) 大盛堂印刷所	福島高校バレーボールOB会	(有) 和田印刷

個人の部(加入順)

片平 俊夫	菅野 正行	下山田好宏	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫	佐藤 十次	内藤 繁
斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫	朽木 耕作	岩本 忠夫	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎
矢内 哲郎	本田 俊教	花井 宣明	星 光一	三瓶 昌久	国井 裕一	長岐 博	岩田 徹
伏見 俊哉	鈴木 浩一	服部 啓吉	吉田 伸一	穴戸 正幸	鈴木 義祐	佐藤 譲敬	橋 和彦
七宮 成夫	遠藤 均	福本 隆	上竹 毅	荒川 信郎	渡辺 知幸	渡辺 正仁	伊藤 隆司
真田 実	小椋 裕	滝田 勝彦	稲村 泰伸	菅波 智之	福士 寛樹	宗形 俊二	西郷 徹夫
神野美智男	柴山 進	須藤 博	関 博之	佐藤 武彦	穴戸 啓光	池田 昭宏	佐藤 信行
宗田 昌史	長谷川清治	柳沼 徹	渡辺 洋司	藤田彌五兵衛	酒井 卓	酒井 卓夫	田中 邦宏
星 香里	佐藤 弘樹	東城 正幸	矢澤 良伸	廣瀬 敬彦	富田 孝志	平石 家治	山田 知彦
高橋 一浩	鈴木 基司	渡邊 彌	白根 一英	鷲森 淳	佐藤 祀男	高橋 千昭	中條 雅彦

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、11年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

加入期間.....入会后5年間 協力量額.....毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
加入窓口.....財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC/USCtop.html
E-mail utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama@u-kouiki.jp

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

中通り広域スポーツセンター (たまかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail naka@u-kouiki.jp

TEL&FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター (会津若松市民ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail aizu@u-kouiki.jp

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

今年の国民体育大会は、冬季大会はすでに終了し、福島県はスキー競技で優勝種目を出すなど、幸先良いスタートを切りました。昨年からは、国体は夏季と秋季大会が一本化され、本大会と呼ばれるようになりました。今年の本大会は近隣の秋田県で行われます。福島県のこれまでの成績で、平成7年の「ふくしま国体」以降、遠い地で行われるほど成績が奮わず、近いほど力を発揮するといつ特徴があります。今年は同じ東北地区で行われ、東北予選会で秋田県は除かれることから、大きなチャンスです。昨年は天皇杯26位。今年は是非とも目標である10位代に振り返れるよう頑張ってください。

本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(スポーツ情報提供事業)により作成したものです。